

東京看板彩集

ト ウ キ ョ ウ カ ン バ ン サ イ シ ュ ウ



太陽が沈む頃、昼間のまろが眠る頃、

夜のまろが目を覚ます。

薄暗がりの路地の中、ぽつりぽつりと燈が灯る。

ひとびとはその燈に誘われるようにまろを彷徨い、

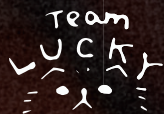
その燈を頼りに目当ての世界を目指す。

日本の呑み屋街ではお馴染みの、
夜の世界と彩る看板たち。

店の顔ともいえるその装いには、
それぞれの個性が溢れ、ひとつひとつに愛嬌がある。

道導が如く自分たちの場所を示す灯り。

一日ごとに東京の呑み屋街を巡り、
お気に入りの看板を見つけていこう。





若者集うサイバーパンク
吉祥寺



寛容さを感じるまち
赤羽



中央線カルチャーの聖地
高円寺



新旧共存のダイバーシティ
西荻窪



消えゆく昭和下町
立石



横浜人の呑み処
野毛

《番外編》



ここは本当に日本なのか？
自転車やテーブル、植栽によってもはや看板が隠れている。
しかし、この雑多さと店内から漏れる温かい灯りが人々を惹きつける力を持つ。



意外と無い紫看板は夜の街に妖しく光る。
キューブ型にすることでかわいらしさも感じる。



看板彩集録①

小さくても、
低い位置にある看板は
目に留まりやすい。
看板と人の距離が
近い方が良いのか。

